

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2014～2015年度 国際ロータリー ゲイリー C.K. ホァン 会長テーマ

Light Up Rotary ロータリーに輝きを

創立 1954年 3月 8日
承認 1954年 3月 30日例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 杉浦芳一
幹事 伊藤節夫
会報委員長 關淳之

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2854回例会プログラム

[当年度 = 5回目; 当月 = 3週目]

2014年(平成26年) 8月18日(月)

1. 例会……………〈司会:プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……………〈会長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱
……………それこそロータリー
5. 歓迎の辞及びゲスト並びにビジター紹介
6. 食事

- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告
8. 幹事報告
9. 出席報告
10. 委員会報告
11. ニコニコボックス報告
12. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(8/25) ……

クラブフォーラム(出席委員会)

通年皆出席者および前年度皆出席者表彰

地区出向者アワー 久米 博明 会員

(9/1) ……

クラブ協議会
ガバナー公式訪問

- 12:55 13. 地区スタッフ挨拶……………^{おおたけ たつろう}大嶽 達郎 様

- 13:00 14. 卓話
西三河分区ガバナー補佐 ^{くろだ かつもと}黒田 勝基 様

15. 謝辞
16. 点鐘……………〈会長〉

- 13:30 17. 閉会宣言

13:30 クラブ協議会……………〈司会:会長〉

1. 開会の挨拶……………〈会長〉
2. ガバナー補佐の挨拶
3. 各委員長による委員会計画の発表と
ガバナー補佐のご指導
4. ガバナー補佐の総評
5. お礼の挨拶……………〈会長〉

15:00 散会

ゲ ス ト

西三河分区ガバナー補佐 黒田 勝基 様
(高浜 RC)
地区スタッフ 大嶽 達郎 様
(名古屋瑞穂 RC)
西三河分区 分区幹事 近藤 智樹 様
(高浜 RC)

出 席

会員総数 94名 出席免除 24名
出席義務者+免除者の内例会出席者 88名
欠席 11名 出席率 87.50%
前々回(7/28)の修正出席率 100%

会 長 報 告

- 1) 一昨日、行なわれた刈谷わんさか祭りに参加して
来ました。大変な賑わいでした。

幹 事 報 告

- 1) 本日、例会終了後クラブ協議会を大会議室で行い
ますので、理事、役員、委員長、新入会員の方はご
出席をお願いします。

会長あいさつ

杉浦 芳一



今日は、刈谷城のお話をします。刈谷の歴史については、高野さん・太田さんの方が詳しいと思いますが、平成25年は於大の方の父である、水野忠政がこの刈谷の地に城を築いて480年（1533年築城）を迎えた年でありました。

今後、順次石垣や櫓が復元されます。

忠政の孫にあたる水野勝成が1600年に3万石で、刈谷藩 初代藩主となります。

その後大和郡山藩6万石、福山藩10万石と転封してきました。

尾張には徳川筆頭62万石がありましたが、三河は西尾・岡崎・吉田と5万石以上の大名が3つしか存在しませんでした。

大坂夏の陣が終わり、徳川幕藩体制ができて平和な時代になったからでしょう。

東海道・伊勢参りと参勤交代でこの地はたいへん賑わったものです。

地区スタッフ挨拶



大嶽 達郎 様

卓 話

西三河分区ガバナー補佐 黒田 勝基 様



ガバナー補佐としての任務は、2014-15年度国際ロータリー第2760地区、近藤雄亮ガバナーの年度方針を分区内クラブにお伝えすることが重要な役割です。

今年度の地区方針『集まろう・語ろう・楽しもう』をテーマに、4項目の地区行動指針を設定され、その実現に向け各分区・各クラブが協力して進めて頂くこととなります。近藤ガバナーの考えもガバナー月信上に表明されておりますが、そのエッセンスは、『歴史に学び、現在を理解し、将来を考える』ということに要約できると思います。組織運

営に関しましては、地区ベースですでに導入されている『地区リーダーシッププラン：DLP』に対し、『クラブリーダーシッププラン：CLP』の採用が遅れていると思います。貴刈谷 RC におかれましては、すでに導入されていると報告がありますが、クラブ運営、広報、財団、会員増強、奉仕プロジェクトでより DLP に合った CLP の研究を深められることを期待しています。また、RI 戦略計画に関しても近藤ガバナーの中核的価値に照らして実行されることを、また、特にこのところ強化されてきたロータリー財団に関するあり方＝未来の夢計画＝を更に研究しそれに沿う形で導入することにより、より大きな成果が期待できます。ロータリー財団はしばしば『寄付をさせられる財団』として位置づけられる場合が多いと感じていますが、これからの財団は、奉仕の中核になると確信しています。R 財団の位置づけを的確に表す言葉として、『財団は私たちのもの：奉仕のためにお金を集め、奉仕のためにそれを使う』ということで、各クラブが行っていくべきことは、いかに財団から『お金を引き出すか、それを使ってより効果的な奉仕プロジェクトを実行していくか』ということではないでしょうか。

近藤ガバナーは各クラブに対し、5つのお願い事項の実行を要請されています。

- ① RI 会長賞への挑戦：これは、どのような項目のプロジェクトを RI は重要視しているかを認知することができます。
- ② 地区ロータリーデーへの参加：11月1日～3日で、名古屋栄で WFFF（ワールド・フード・ふれあい・フェスタ）が開催されます。特に3日はロータリー JAPAN デーとして、各地区ガバナー、RI 理事も来地区される予定です。チケット（2000円）に400円分のチャリティ資金が組込まれており、D.2760全クラブの協力要請をされています。
- ③ 立法審議委員会の設置。近藤ガバナーの思いは、『ロータリーを我々の手に取り戻す』であると私は考えています。過去の手続要覧と2013年度版ではずいぶん変更点があります。時代の趨勢で変更すべきところもありますが、ロータリーの規則（章典、規定審議会の提出立法案）を、我々で修正することができます。それを今年度より D.2760でも実施していき、ロータリーを我々のところに取り戻すことを進めていくというものです。
- ④ 会員増強。クラブの基盤である会員の維持、増強、退会防止に努めて頂きたい。7月1日時点での会員数に対し純増会員数3%を目標に活動してください。
- ⑤ サンパウロ国際会議に多くの方の参加を希望します。また、近藤ガバナーの年度では、全84クラブでガバナー賞にチャレンジをお願い致します。
A) クラブ単位でのロータリーデーの実施、B) 会員数を純増3%達成（小数点以下切り上げ：貴クラブでは2名以上）、C) ロータリー米山奨学会への寄付を会員一人当たり2万円（貴クラブではクラブ計188万円以上）。上記の3項目のうち、どれか1項目達成すれば、ガバナー賞受賞対象クラブとなります。よろしくお願い致します。

また、MY Rotary（ロータリークラブセントラル）というITを活用し、各会員自分自身、所属クラブ全体、分区単位、地区単位での情報処理を行うことにより、リアルタイムに各レベルにおける計画進捗管理が可能となり、結果として状況に対してのアクションがとりやすくなるというシステムの活用もお願い致します。

いずれにしましても、今年度近藤年度、西三河分区内クラブの奉仕活動にご尽力頂き、ガバナーのスローガンでもありますように『集まろう・語ろう・楽しもう』をキーワードとして、『楽しく』活動して頂きたいと思えます。

11月24日(月)はガバナー補佐杯を葵カントリーで、来年4月4日(土)には、西三河分区IMを企画しています。

皆様のご協力とご配慮をお願い致します。1年間よろしくお願い致します。

クラブ協議会



各委員会による委員会計画の発表とガバナー補佐のご指導